



総合的な学習の時間において
SDG sの取り組みを實踐中

南関中学校（南関町小原）では、総合的な学習の時間のゴールのデザインとして「南関町のためにできること、自分たちのためにできることを考える」をSDGsの視点から設定しています。各学年での調査活動や体験学習を受けてのまとめの学習、発表の場を「南関中文化の日」において行っています。



自然と融和した県北の環境教育の拠点

エコくまもと（南関町下坂下）は、産業廃棄物の最終処分場（クローズド・無放流型）であるとともに、循環型社会や脱炭素社会、自然共生社会をテーマとした環境学習に取り組んでいます。場内のビオトープは「ホテルの育成」や「スジエビ釣り」などの自主イベントに活用し、自然と触れ合える場として多くの人に親しまれています。平成 28 年熊本地震や令和 2 年 7 月豪雨の際には多くの災害廃棄物を受け入れ、被災地の復旧・復興の下支えに寄与しています。



(玉名市・玉東町・南関町・和水町)



学校全体で SDG s に取り組んでいます！

専修大学玉名高校（玉名市岱明町）ではSDGsを身近なところで取り組める・取り組む問題として、生徒それぞれが向き合い、学校全体で取り組まれています。授業ではみそ汁をテーマに材料やみそ汁ができるまでに必要な資源について考えることや、美化清掃は範囲を校内から学校周辺地域に広げたり、また夏休みには小学生を招いて学習活動を一緒に取り組んだりされています。「学校生活×地域」を全校生徒で実践中！！



食が持つ力で温かい居場所づくり

「ひとり社会」が進んでいる中、NPO法人キッチンるぽ（玉名市中）では、毎週木曜日に「子ども食堂」を開催し、ホッと気が抜ける雰囲気の中で、友だちやさまざまな年代の大人との交流を楽しみながらご飯を食べ、学習支援なども同時に行う活動をされています。代表の相馬さんは「ここで自分の可能性に気付いた子ども達を見るとうれしくなります。みんながつながる温かい居場所づくりが各地で広がればいいと思います」と話されています。



「地域未来塾」開講！
～地域と共に子どもたちの夢をサポート！～

和水町では、放課後に学習支援を必要とする中学生に対して、地域住民の協力により学習指導を行う「地域未来塾」を毎週水・木曜日に公民館で実施しています。生徒たちは、宿題を中心に集中して勉強に取り組み、分からない部分は学習支援員に質問しながら理解を深め、楽しく学びながら、良い学習習慣を身に付けています。今後も地域の未来を担う子どもたちの、夢の実現に向けた取り組みを推進していきます。



「町民」×「民間」×「行政」
協働のエネルギー再資源化の取り組み

NPO 玉東エコクラブ（玉東町西安寺）では、コンテナ収集（資源物の拠点回収）で町民から回収した廃食油を精製し、バイオディーゼル燃料（BDF）として再利用する活動を行っています。BDF は、町のごみ収集車両などに利用され、エネルギー再資源化のサイクルを町内コミュニティだけで実現しています。この活動が評価され、令和元年に地球温暖化防止活動環境大臣賞を受賞しました。



クリーンクリーン作戦に取り組んでいます！



和水町では、環境美化活動として熊本県環境月間である6月に町内一斉のボランティア清掃作業を毎年実施しています。本年度は、66 行政区の区民の皆さんに参加を呼びかけ、町内 25 事業所から参加がありました。道路や河川敷のごみ拾いに継続して取り組むことで、町全体の環境保全への意識向上を図り、環境美化活動の普及につなげています。

地域ぐるみで目指す国際理解と多文化共生社会



玉東町では、グローバル化の進む日本社会や世界規模レベルのさまざまな問題と向き合うために、国際理解に向けた活動や多文化共生社会（誰もが生きやすい社会）の創出を推進しています。具体的には、派遣前海外協力隊員（JICA）を研修生として招き、町の地域課題解決と国際的な視野の構築を目的としたグローバルプログラムや、認定NPO法人れんげ国際ボランティア会（玉市市築地）と協働で行うウクライナ避難民受け入れ支援事業に取り組んでいます。

